

## 名前 \_\_\_\_\_

**理科**

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 確認テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

## 担当より一言

今回は春の植物や動物についてです。

「春の七草」は「セリ・ナズナ、ゴギョウ・ハコベラ、ホトケノザ、スズナ・スズシロ、春の七草」という五七五七七のリズムで覚えてしまいましょう。黙読ではなく、必ず声に出して読んでください。

サクラは暖くなると花を咲かせます。開花前線が南から北へと動いていく事、日本列島の中央で曲がっている事、の理由が説明できるように。また、サクラが冬に冬芽をつけるのは、春になるとすぐに開花できるための準備だということを理解しましょう。

サクラの開花は毎年テレビなどでも取り上げられますので、注意して見るとよいでしょう。

動物ではモンシロチョウやメダカがよく取り上げられます。暖くなるとどのような事が起こるのか言えるようにしましょう。

夏鳥と冬鳥については、どこから来て、どこへ行くのか覚えておきましょう。

**社会**

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
② 宿題用テキストの基本問題 A・B を解く	
③ 確認テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題 A・B を解く	
② 第4回・第5回の地図の回の復習（第7回に地形図確認テストを実施します）	
③ 都道府県の確認（引き続き、都道府県名・位置などを覚えよう）	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

今回は、「日本の地形」について学びました。  
 山地・山脈、山、川、平野、盆地、台地、海、半島、湾、島、湖……  
 これから多くの地形を学んでいきますが、本日はその入り口でした。

まず、日本がどこに位置しているのかを確認しました。ユーラシア大陸の東ですね。そして、4つの海に囲まれている島国が日本です。本州や北海道もふくめて、およそ7000の島じまからなるのが日本です。

陸地は、「山地」と「平地」の大きく2つに分けることができます。日本はどちらが多いでしょうか？ これは山地でしたね。およそ4分の3が山地、残りの4分の1が平地でした。テキストの図も思い出してください。テキストにのっている山地・山脈は、入試でもとくに問われるものなので、名前を漢字で書けるようにしたうえで、地図上でどこにあるか示せるようにしましょう。漢字では「飛驒山脈」で、特に注意が必要です。

一方、4分の1しかない平地ですが、人びとが集中しています。平らな方が住みやすいからです。ただ、同じ平らな土地であっても、でき方や場所によって平野や盆地、台地と名前が異なります。どう違うのか、説明できるようにしておきましょう。

最後に川を中心とした地形のつながりを確認しました。川と平野・盆地のつながりに目を向けることで、地形をまとめて覚える手助けとなります。盆地だけを覚えても実際の問題では使えないことも多いです。テキストでは入試で特に問われる川を紹介しました。こちらも漢字で書けるようにしたうえで、地図上でどこにあるか示せるようにしましょう。

春期講習中は、翌日が次の授業ということもありますが、基本問題 A・B は、次の授業までに取り組むようにしましょう。

次回、第7回は春期講習最後の回です。ここで、地形図確認テストを行います。第4回、第5回の授業用テキストを見ておくなど、準備をしておきましょう。